

ゲンジボタルとヘイケボタル

ゲンジボタルの幼虫は、きれいな水の流れる川の中で、カワニナを食べて育ちますが、ヘイケボタルの幼虫は、流れのない沼や水田などで、モノアラガイやヒメタニシなどの巻貝を食べて大きくなります。水の汚れにも比較的強いといえます。

ゲンジボタルの成虫は、背中に十文字(プラス)のような模様、ヘイケボタルは縦に一筋の線とおぼえておくと見分けやすいでしょう。

項目／種別		ゲンジボタル	ヘイケボタル
成虫	体長(cm)	メス 2.0/オス 1.5	メス、オス 1.0 (メスがやや大きい)
	前胸部斑紋		
	発光器	メス1節、オス2節	同様
	季節	6月中旬～7月上旬	7～8月
	飛び方	曲線的	直線的
	点滅回数	約20回／分	約80回／分
	産卵数	500～1,000 個	50～100 個
卵	直径(mm)	0.5	0.6
	期間	25～30日	20日
幼虫	脱皮回数	5～6回	4回
	食物	カワニナ	タニシ・モノアラガイ
	生活場所	河川(流水)	水田・溝(止水)
	汚染に対し	弱い	強い
分布		本州・四国・九州	日本・中国東部・シベリヤ東部

参考にさせていただいたホームページ

<http://mylab.ike.tottori-u.ac.jp/~mijosxi/kusaki/>

蛍について



ひめ蛍



平家蛍



源氏蛍

蛍豆知識

- 1 蛍が生息する場所は？
幼虫時代に川ニナ(川に生息する巻き貝の一種)を餌にする
蛍は川ニナがよく育つ水辺に生息しています。
ちなみに幼虫から成虫になる確立は約3%です。
- 2, 蛍の種類は？
蛍は光ものだと思われがちですが、実際には
光らない蛍の方が大半を占めるのです。
世界で約2,000種類で、日本では約40種類、
その中で光のは、源氏蛍・平家蛍・ひめ蛍等数種です。
- 3, 寿命はどれくらい？
オス メスともに成虫になってから約10日間です。
- 4, どんな時に多く見ることができますか？
風が無く、どんより曇ったなま暖かい日が最適です。
冷え込む夜は活動が鈍くなります。
気温は14~16℃ 時間帯は20~21時 0~1時 3~4時です。

○生息地○

●源氏蛍・・5月中旬頃以降出初め6月10日～6月15日位をはさんで約1ヶ月間、鑑賞することができます。

幼虫は9ヶ月間水の中で育ち翌年の3月下旬から4月上旬にかけて陸に上がり、土の中でさなぎになります。

幼虫は流れのある水の中で育ちます

●平家蛍・・6月20日過ぎから出始め6月下旬～7月上旬位をはさんで約1ヶ月間鑑賞することができます。

幼虫は9ヶ月間水の中で育ち翌年の3月下旬から4月上旬にかけて陸に上がり、土の中でさなぎになります。

幼虫は池や田んぼなどあまり水が流れないところで見られます。

●ひめ蛍・・6月20日過ぎから出始め6月下旬～7月上旬位をはさんで約1ヶ月間鑑賞することができます。

ひめ蛍の幼虫は陸性なので木立の中の茂みで育ちます。

幼虫は山や林の中の湿ったところで見られます。

蛍観賞のマナー

- 1, 夜行性の蛍は光を嫌います車のライトは必ず消しましょう
懐中電灯等も観賞するときは消しましょう。
- 2, 蛍を捕まえたり持ち帰らないようにしましょう。
- 3, 騒がないようにしましょう。
- 4, ゴミは捨てないで下さい。
- 5, 明るい内に道や安全な場所を確認しておきましょう。

参考にさせていただいたホームページ

<http://www.yamanoyu-k.jp/tuite/tuite.html>